



令和8年(2026年)9月17日(木)

(公財) 広島平和文化センター

平和文化振興部平和文化企画課 課長：鉤流

電話：242-7797 内線 5810

第3回広島市平和文化のまちづくり懇談会の開催について

核軍縮が停滞し、国際社会からは、広島が核兵器廃絶と世界の平和を訴え続けることへの強い期待が表明される中、被爆者や戦争体験者等が高齢化し、若い世代に平和のバトンを渡す仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

このような状況を受け、広島は、平和を願う「ヒロシマの心」の発信力を高めるとともに、全国の自治体と手を携えた平和学習を拡充することなどにより、「ヒロシマの心」を若い世代がしっかりと受け止め、自ら考え行動できるようにするための新たな取組を進めています。

そうした中、広島平和記念資料館の来館者は3年連続で過去最多を更新し続けており、多くの方々が「ヒロシマの心」に触れる機会が増加している一方で、混雑により「ヒロシマの心」に触れる一人一人の時間の確保が難しく、受入れそのものが困難になってきているといったマイナス面も生じてきています。

こうした諸情勢を踏まえ、広島が世界に平和を発信し続けるための中長期的なまちづくりのあり方に関し、有識者等に専門的見地からご議論いただき、試案をまとめるため、第1回・第2回に続き、以下のとおり「第3回広島市平和文化のまちづくり懇談会」を開催します。

- | | | | | |
|---|-------|---|----------------------------------|-------------|
| 1 | 日 | 時 | 令和8年9月28日(月) | 10:00~12:00 |
| 2 | 場 | 所 | 広島平和記念資料館 東館地下1階 | 会議室(1) |
| 3 | 次 | 第 | (1) 映像 | |
| | | | ・「ヒロシマ平和学習受入プログラム」 | |
| | | | ・「ユース・ピース・ラウンジ」及び「折鶴コーナー」 | |
| | | | (2) 鈴木 由美子広島大学名誉教授(教育学) 提言 | |
| | | | (平和を学ぶことを中核に据えたまちづくりの提案) | |
| | | | (3) 「希望の平和文化都市・ヒロシマ」の構築に向けて(検討案) | |
| | | | (事務局説明) | |
| | | | (4) 審議 | |
| 4 | 委員名簿 | | 別紙のとおり | |
| 5 | 傍聴受付 | | 懇談会開始の15分前から5分前まで | |
| 6 | 記者説明会 | | | |

次のとおり開催しますので、本件に関するご質問はその際にお伺いします。

日時：9月25日(金) 13:30~14:30

場所：広島市役所本庁舎11階 第1会議室

7 取材に当たってのお願い

当日は、会場スペースが非常に狭いため、別図で示した範囲内での取材にご協力をお願いします。

(今後の開催予定)

・第4回 12月25日(金)



広島市平和文化のまちづくり懇談会

委員名簿

氏 名	現職等	分野等
松井 一寛	広島市長	座 長
上田 宗岡	公益財団法人上田流和風堂理事長	文 化
岡畠 鉄也	株式会社中国新聞社代表取締役社長	言論(新聞)
越智 光夫	広島大学学長	学 術
久保 允誉	株式会社サンフレッチェ広島代表取締役会長	スポーツ
佐々木 亨	北海道大学名誉教授	博物館経営
西尾 一輝	一般社団法人日本旅行業協会中四国支部長	観 光
前田 香織	広島市立大学学長	学 術
松藤 研介	広島商工会議所会頭	経 済
箕輪 幸人	株式会社テレビ新広島顧問	言論(テレビ)
棕田 昌夫 ※	広島電鉄株式会社代表取締役会長	交 通
八幡 照子	公益財団法人広島平和文化センター被爆体験証言者	被爆者

※ 第3回広島市平和文化のまちづくり懇談会の欠席者

(50音順 敬称略 合計12名)

第3回広島市平和文化のまちづくり懇談会 配席表

日時：令和8年9月28日(月) 10時～12時

場所：広島平和記念資料館 東館地下1階 会議室(1)

委員荷物置場

広島市長
松井座長
○

(公財)上田流和風堂 理事長
上田委員○

㈱中国新聞社 代表取締役社長
岡島委員○

広島大学 学長
越智委員○

㈱サンフレッチェ広島
代表取締役会長
久保委員○

北海道大学 名誉教授
佐々木委員○

(一社)日本旅行業協会
中四国支部長
西尾委員○

広島市立大学 学長
○前田委員

広島商工会議所 会頭
○松藤委員

㈱テレビ新広島 顧問
○箕輪委員

(公財)広島平和文化センター
被爆体験証言者
○八幡委員

事務局○

事務局○

事務局○

事務局○

事務局○

事務局○

○事務局

○事務局

○事務局

○事務局

○事務局

○事務局

網掛部分：
取材可能範囲

事務局

○事務局

○事務局

○事務局

○事務局

事務局

○事務局

○事務局

○事務局

○事務局

記者席・傍聴席

記者席・傍聴席

カメラ台

懇談会資料

入口

受付